

## 令和4年度学校教育自己診断結果に対する分析

### ○授業改善の取組みの成果

「学校へ行くのが楽しい」が昨年より10ポイント上がり、個々の生徒の状況に応じた支援が進んでいると思われる。系列授業やモジュール授業の評価も上がり、「寄り添う」「粘り強い」教育ができつつある。

### ○寄り添う生徒支援の充実

遅刻指導に対する肯定的意見は上がっているが、頭髪・服装指導については下がっている。生徒指導の在り方も含め、指導のポイントを再検討する必要があると考える。

### ○ICT活用の推進

1人1台端末の活用については、2，3年生で活用できていない。まずは、教室内で保管し、いつでも活用できる環境をつくる必要がある。

### ○特別活動の充実

学校行事については、コロナの影響がなくなるにつれて、さらに肯定的意見は増えると期待している。